



市長の

# 全力！まち取材

市長が全力で市内を取材し、紹介するコーナーです。  
取材先で皆さんの声を聴き、キラリと輝く戸田の宝を発掘します。

！！動画版も公開中！！



動画は  
こちら



第39回

今回伺ったのは

## ロクハチ野球工房

### ●体やプレーに合わせた野球グローブを販売

元プロ野球選手が営む野球用品専門店「ロクハチ野球工房」では、グローブなど野球用品の販売・修理をしています。全国各地からさまざまなオーダーが来る中でも、特にグローブへの「湯のみ・型付け」サービスが人気で、新品のグローブを湯に浸して柔らかくした後、叩いたりもみ込んだりして、手になじみやすくする加工を行っています。新品のグローブは、最初は固くて使いにくいので、思ったように扱えず、プレーの上達を阻害することもあるそうです。グローブへの指の入れ方、ボールを受け止める位置などのヒアリングを行い、調整することで、顧客それぞれに合ったグローブをつくり上げます。代表の宇佐美康広さんは、「高額なものがかならずしもよい道具ではなく、自分の体やプレースタイルに合ったものがよい道具です」と語ります。湯のみ・型付けは手作業で1週間近くかかるにもかかわらず、この店でグローブを買った人は無料でサービスを受けることができます。



一つ一つ丁寧な手作業でつくり上げていきます。

### ●来店した子どもを元気付ける「熱血指導」も

宇佐美さんは平成6年に東京ヤクルトスワローズに入団し、1軍でプレーした時期もありましたが、身体の故障もあり平成12年に引退しました。引退後は一般企業でサラリーマンとして働いていましたが、子どもの少年野球チームの監督を務めたことをきっかけに、野球への思いが再燃したそうです。「湯のみ・型付け」の修行を経て、ロクハチ野球工房を開業しました。宇佐美さんの腕のよさは口コミやSNSで広まり、現在は戸田市近辺はもちろん、北海道から沖縄まで全国各地から注文が舞い込んできています。店に来た子どもとのコミュニケーションも大切にしており、野球の練習法や素振りのフォーム確認に思わず熱が入ってしまうこともあるそうです。「プレーで上手いかず伸び悩んでいる子ども、この店に来たらまずは元気になってほしいですね」と宇佐美さん。この店のグローブを使って上達した子どもが、宇佐美さんのようにプロ野球選手になる日もいずれ来るかもしれません。



店内ではスイングチェックもしてもらえます。

special photo

今月の  
パチリ



グローブの型付け作業を体験しました。手首に近い「土手」の部分は手を押し付けながら揉み込み、指関節が曲がる所には、折り返しを付けるようにします。球を受け止めるポケット部分はハンマーで叩きます。宇佐美さんは年間約500個分も作業されているそうです！

取材こぼれ話



宇佐美さんが高校生の時、地元の北海道大会の決勝戦で惜しくも敗れ甲子園出場を逃したそうです。それから20年後に当時と同じメンバー、同じ審判を呼んで再試合をした際、相手チームから甲子園の土が入った小瓶を20年越しに受け取りました。野球を通じた熱い思いと交流が、現在でも宇佐美さんの財産になっています。

### （取材を終えて市長は）

市内の各小中学校では多くの少年野球チーム、野球部が活動しており、彩湖・道満グリーンパークの隣には、宇佐美さんが在籍した東京ヤクルトスワローズの2軍球場もあるなど、野球と戸田市は深い関係があります。野球用品の販売に留まらない、野球愛を次世代の子もたちへと伝えてゆくこの店を通じて、スポーツの楽しさがますます広まってほしいです。



### ロクハチ野球工房

戸田市上戸田3-8-14 高山ビル1F

2016年に開業した野球用品専門店。グローブの人気メーカー「ドナイヤ」埼玉県内初の取扱店となるなど、こだわりの野球用品を取りそろえる。店名の「ロクハチ」は、宇佐美さんのプロ野球時代の背番号68に由来する。

取材先募集中！ 市長が市内の企業や事業所など、皆さんのところへ取材に行きます。申し込みは市長公室(内線423)まで。